

輪島中央地区

(石川県 輪島市)

計画期間 平成23年度～27年度
 面積 156ha
 交付対象事業費 4,330百万円
 市人口 28,665人(地区内人口13,600人)

ポイント 観光地としての魅力や市街地における回遊性が向上したことにより、減少率を抑えることを目標としていた観光客数が増加に転じ賑わいの創出に繋がった。

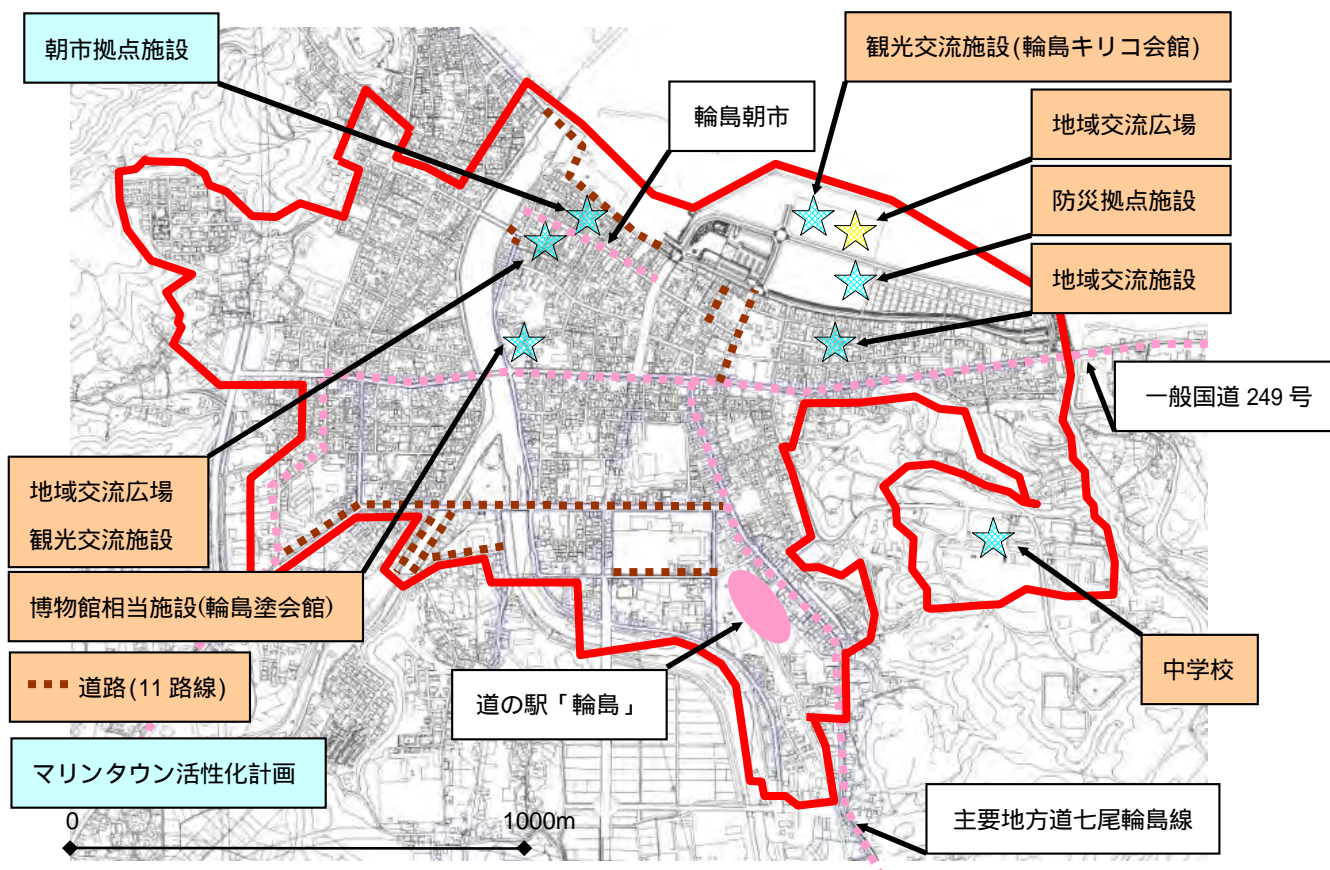
地区概要 観光交流及び市民間交流等を促進することにより、観光交流人口や定住人口の確保を図るとともに、交流イベントの開催等により地区内におけるコミュニティの形成を図る。

目標 大目標：快適で賑わいのあるまちづくり
 目標：人が集い交流が盛んな賑わいのあるまちづくり
 目標：誰もが住みたいと思う快適なまちづくり

指標 観光交流人口及び定住人口の減少抑制を図るため、観光客数及び地区人口の減少率と交流イベントの開催回数を目標とした。

観光入込客数の減少率	4.6% (H21)	→	4.0% (H27)
交流イベントの開催回数	21回 (H21)	→	25回 (H27)
地区内人口(社会動態)の減少率	0.8% (H21)	→	0.6% (H27)

事業内容 基幹事業(4,364百万円) 道路(11路線、幅員8.0m～16.0m、延長3,590m)、地域生活基盤施設(3箇所)、高質空間形成施設(1箇所)、高次都市施設(3箇所)、中心拠点誘導施設(2箇所)
 提案事業(17百万円) 地域創造支援事業(朝市拠点施設)、まちづくり活動推進事業(マリンタウン活性化計画)



地区の現況と課題

地区内では、平成 22 年度までまちづくり交付金やその他の事業により観光交流による賑わいの創出を目的とした整備を集中的に実施してきた。本地区において観光交流に資する施設の整備は概ね完了するが、市民間交流や市民が余暇を過ごすことを目的とした施設が不足している状況にある。

これまで整備した施設の有効活用や魅力の向上、交流イベント等の実施により交流機会の増加を図るとともに、交流施設や防災施設等の整備により、市民間交流の場や安全安心を確保する必要がある。

提案事業の特徴

【朝市拠点施設】

輪島朝市において空き店舗を改修し、出店者に対する休憩、交流、情報交換の場とすることにより、出店者間の交流や輪島朝市の活性化を図るとともに、午後の時間帯における賑わいの創出を図る。

【マリンタウン活性化計画】

マリンタウンを市街地活性化の核に位置づけ、開発ガイドラインの策定、企業や客船誘致のための情報発信、その他市民主体の各種活動により、賑わいの創出を図る。

まちづくりの効果、持続的取り組み

本地区における各種施設整備の実施により、当初、減少率を抑制するとしていた観光入込客数が増加に転じるとともに地区内人口の減少率も目標を達成することができた。

今後は、これらの効果を持続するため、整備した施設の有効活用を図るとともに、定住人口に関する施策を 2 期地区に引き継ぎコンパクトシティプラスネットワークの推進を図るための取り組みを集中的に実施する。

輪島市長のコメント

この度のまち交大賞受賞に際し、関係各位に感謝申し上げます。本地区では、観光都市輪島としての活力創出と少子高齢化による過疎化の抑制という方向性の異なる 2 つの施策を同一計画に位置づけ課題の解消に向けた取り組みを展開してまいりました。特に観光面では当初減少率を抑制するとしていた観光入込客数が約 3 割の増加に転じるという予想以上の結果となりました。今後は、定住に関する施策を 2 期地区に引き継ぎ、コンパクトシティプラスネットワークの推進を図るまちづくりに努めてまいりたいと考えております。

輪島キリコ会館館長のコメント

郊外で廃業した民間施設（本館）を市の重要な観光資源と位置づけ市有施設として輪島朝市にほど近い市街地に移転したことにより、入館者数が 3 倍以上に増加するとともに、私を含めた当時の従業員の雇用の確保にも繋がっており非常に嬉しく思います。この効果を継続できるよう魅力ある施設の運営に努めてまいります。



郊外から移転した輪島キリコ会館



老朽化に伴い建て替えた輪島塗会館



空き店舗を活用した朝市拠点施設



客船寄港時に賑わうマリンタウン